

様式2「水災害意識社会再構築ビジョン」に基づく奈良県紀の川圏域の減災に係る取組方針に関する調査 回答結果
各機関の取組み動向を踏まえた具体的な取組内容および課題・工夫点の把握

これまでの取組み動向を踏まえ、今後、取組の推進を図る上で各機関相互に情報共有することが有効な内容(予算確保、人員確保、技術的事項・ノウハウ等)に関して、課題や工夫点等を把握させていただきます。「調査対象取組項目」に該当する内容について以下の設問に記入をお願いします。

機関No	機関名	調査対象取組No	調査対象取組項目
5	下市町②	43	水防団(消防団含む)との情報伝達訓練の実施

設問① 具体的な取組内容をご教示ください。
※取組にあたり活用した補助金制度等がある場合には併せてご教示ください。

記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。

下市町消防団合同訓練内で情報伝達訓練を実施

訓練日：令和4年11月27日
参加人数：160人
訓練内容：放水訓練



設問② 取組を進める上で難しかった点(問題点)、課題をご教示ください。また、工夫した点、問題点に対する対応方法を併せてご教示ください。

記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。

- ・ 訓練周辺地区への訓練周知協力依頼
- ・ 訓練実施・片側通行の周知看板の設置
- ・ 消防団員への交通安全ルールの遵守及び一般車両の安全な誘導の徹底
- ・ 奈良県広域組合下市消防署との連携



設問③ 取組の実施に要した期間(取組着手から実施済みになるまでの期間)をご教示ください。

毎年実施予定

様式2「水災害意識社会再構築ビジョン」に基づく奈良県紀の川圏域の減災に係る取組方針に関する調査 回答結果
各機関の取組の動向を踏まえた具体的な取組内容および課題・工夫点の把握

これまでの取組の動向を踏まえ、今後、取組の推進を図る上で各機関相互に情報共有することが有効な内容(予算確保、人員確保、技術的事項・ノウハウ等)に関して、課題や工夫点等を把握させていただきます。「調査対象取組項目」に該当する内容について以下の設問に記入をお願いします。

機関No	機関名	調査対象取組No	調査対象取組項目
6	黒滝村	43	水防団(消防団含む)との情報伝達訓練の実施

設問① 具体的な取組内容をご教示ください。
※取組にあたり活用した補助金制度等がある場合には併せてご教示ください。

記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。

黒滝村防災訓練の実施

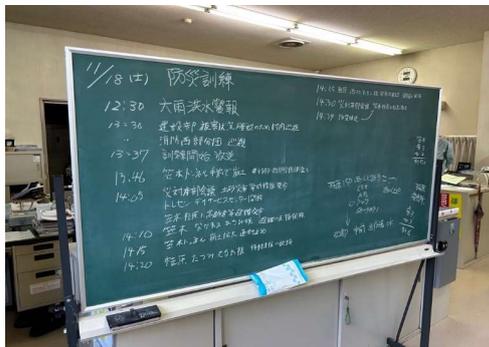
- 日 時: 令和5年11月18日(土) 午後0時頃～
- 場 所: 各集会施設【笠木区、桂原区】、農林トレーニングセンター、社会福祉協議会、黒滝村役場

笠木区、桂原区の住民に参加して頂き、大雨による土砂災害を想定した避難訓練がメインとなる防災訓練を実施。消防団による避難者の支援、福祉避難所の設営、指定避難所の設営等を行う。その中で各種団体との情報伝達訓練を行い、消防団との情報伝達も実施した。

役場で情報伝達の様子



農林トレセンに避難した様子



設問② 取組を進める上で難しかった点(問題点)、課題をご教示ください。また、工夫した点、問題点に対する対応方法を併せてご教示ください。

記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。

- 訓練シナリオに沿って進めていくが、各箇所をチェックする体制がとれていなかった。
- 消防署長に全体の講評をしてもらう事で、専門的な意見が頂けた。
- 要配慮者や逃げ遅れ者を想定することで、問題点が出てくる。

設問③ 取組の実施に要した期間(取組着手から実施済みになるまでの期間)をご教示ください。

○10月中旬にシナリオ等作成 →11月1日関係者会議 →11月18日訓練実施 →12月4日反省会 約2ヶ月

様式2「水災害意識社会再構築ビジョン」に基づく奈良県紀の川圏域の減災に係る取組方針に関する調査 回答結果
各機関の取組み動向を踏まえた具体的な取組内容および課題・工夫点の把握

これまでの取組み動向を踏まえ、今後、取組の推進を図る上で各機関相互に情報共有することが有効な内容(予算確保、人員確保、技術的事項・ノウハウ等)に関して、課題や工夫点等を把握させていただきます。「調査対象取組項目」に該当する内容について以下の設問に記入をお願いします。

機関No	機関名	調査対象 取組No	調査対象 取組項目
3	吉野町①	26	避難が困難な地域や住民が逃げ遅れた場合などの応急的な避難場所の確保

設問① 具体的な取組内容をご教示ください。
※取組にあたり活用した補助金制度等がある場合には併せてご教示ください。

記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。

町の指定避難所や避難場所以外の避難先の確保を進める。
自宅避難や地域外避難、車中避難等の多様な避難の方法を紹介する取り組みを実施。
中でも地域住民同士が話し合いを経て地域内で避難場所の指定を行う動きをサポートする。



設問② 取組を進める上で難しかった点(問題点)、課題をご教示ください。また、工夫した点、問題点に対する対応方法を併せてご教示ください。

記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。

避難所に避難をすることが第一優先と捉える住民が多くいる現状。
正常性バイアスにおける避難行動の遅れが生じる現状。
このような現状を認識した上で取り組みを進める必要がある。

ここ数年はコロナ禍で防災学習会を実施する機会が少なかったため、住民意識の再高揚を図る必要がある。

設問③ 取組の実施に要した期間(取組着手から実施済みになるまでの期間)をご教示ください。

6ヶ月

様式2「水災害意識社会再構築ビジョン」に基づく奈良県紀の川圏域の減災に係る取組方針に関する調査 回答結果
各機関の取組み動向を踏まえた具体的な取組内容および課題・工夫点の把握

これまでの取組み動向を踏まえ、今後、取組の推進を図る上で各機関相互に情報共有することが有効な内容(予算確保、人員確保、技術的事項・ノウハウ等)に関して、課題や工夫点等を把握させていただきます。「調査対象取組項目」に該当する内容について以下の設問に記入をお願いします。

機関No	機関名	調査対象取組No	調査対象取組項目
3	吉野町②	54	水害リスクの程度に応じた水災害意識啓発の広報(出前講座の実施)

設問① 具体的な取組内容をご教示ください。
※取組にあたり活用した補助金制度等がある場合には併せてご教示ください。

記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。

地域を対象とした水害教育の実施

- 日 時： 令和5年10月11日
- 参加者： 中竜門柳区
- 内容： (避難経路の確認・ハザード確認・防災備品の確認等)



設問② 取組を進める上で難しかった点(問題点)、課題をご教示ください。また、工夫した点、問題点に対する対応方法を併せてご教示ください。

記入にあたり、参考となる図表がある場合には添付ください。

ここ数年はコロナ禍で防災学習会を実施する機会が少なかったため、住民意識の再高揚を図る必要がある。また、町主導の学習会のみならず、地元に関係する防災士による避難に関する講習や自治会同士の合同訓練等も今後は検討し、マンネリ化を防止し積極的に住民参加を呼びかける。

設問③ 取組の実施に要した期間(取組着手から実施済みになるまでの期間)をご教示ください。

1ヶ月

(参考)アンケート調査項目抽出整理一覧(機関別)

No	機関名	取組No	調査項目
2	宇陀市	19	ため池ハザードマップへの作成、周知
5	下市町①	19	ため池ハザードマップへの作成、周知
3	吉野町①	26	避難が困難な地域や住民が逃げ遅れた場合などの応急的な避難場所の確保
7	川上村	26	避難が困難な地域や住民が逃げ遅れた場合などの応急的な避難場所の確保
4	大淀町①	27	住民一人一人のマイタイムライン・マイ防災マップの作成促進
5	下市町②	43	水防団(消防団含む)との情報伝達訓練の実施
6	黒滝村	43	水防団(消防団含む)との情報伝達訓練の実施
1	五條市①	45	想定最大規模洪水を踏まえた浸水時においても災害対応を継続するための庁舎等施設の改善検討
8	東吉野村①	46	想定最大規模洪水を踏まえた施設浸水を想定したBCP(業務継続計画)の検討
1	五條市②	53	小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施
8	東吉野村②	53	小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施
3	吉野町②	54	水害リスクの程度に応じた水災害意識啓発の広報(出前講座の実施)
4	大淀町②	54	水害リスクの程度に応じた水災害意識啓発の広報(出前講座の実施)